

「柔和と穏健」

ヤコブ3：1-18

■ 今年のテーマ『柔和』と『穏健』

あけましておめでとうございます。20周年を目前にして、変遷変貌から柔和・穏健という大きなテーマをいただきました。この『柔和』とは、あなたの願いを何でも聞くという意味ではなく、どんな願いを言おうとも柔和に受け止めて、正しい対応をして的確に伝えていくという意味です。正しい道に導くためには、正しさを持っていなければいけません。そして受容することで人は冷静で正しい道に歩むことができるのです。

ヤコブ3：13【あなたがたのうちで、知恵のある、賢い人はだれでしょうか。その人は、その知恵にふさわしい柔軟な行いを、良い生き方によって示しなさい。】

この御言葉の、『良い生き方によって』というところが『穏健』なのです。

ヤコブの書は『柔和な行いを、良い生き方によって示しなさい』ということについて書いてあります。リバーサイドチャーチは、これまでヘブル語から見るヤコブの書を見てきましたが、今年は『柔和と穏健』というテーマでヤコブの書を見ていきたいと思えます。

■ 柔和の意味を間違えてはいけない

タイタニックの映像に合わせてクラリネット奏者が舟の汽笛を吹く動画を見ました。クラリネット奏者の雰囲気を見ると、今にもタイタニックの映像に合わせて素敵な演奏をするかのようでした。しかし、その奏者が吹いたのは、たった一音だけ舟の汽笛の音でした。

このように、私たちは本来の意味を誤って理解していることが良くあります。今年のテーマ『柔和と穏健』の意味は、日本の文化の中の意味ではありません。心の中で思っていると言わないことが『柔和』ではありません。それは『無関心』ということです。間違えて理解してはいけません。

マタ 5:3-5【心の貧しい者は幸いです。天の御国はその人たちのものだから。悲しむ者は幸いです。その人たちは慰められるから。柔和な者は幸いです。その人たちは地を受け継ぐから。】この言葉は、詩篇37節から語られています。

詩篇 37:11【しかし、貧しい人は地を受け継ぐ。また、豊かな繁栄をおのれの喜びとしよう。】

『柔和』とは、マタイ5章にある「貧しい者」と「柔和な者」という意味で使われています。そして同じ意味で使われている箇所が詩篇37：11にもあります。この二つは、ギリシャ語では違う意味ですが、ヘブル語では同じ言葉で、『悩む、苦しむ』に加えて『答える・声をあげる、歌う』という意味がセットとなっています。つまり、悲しみ、飢え乾く心は祈りの中心ということです。

「貧しい者」は霊的な飢え乾き、へりくだる者になっていくことで喜びの声をあげるという意味があるのです。放蕩息子も貧しい心になっていく中で、謙遜と柔和とその行動に喜びの声があつて、かつ穏健が与えられるのです。

■ 神の知恵『温順』であるために大切な『ことば』

世の中にはこのような誤った情報があふれています。一部の現状だけを見て判断しないように気を付けなければいけません。ヤコブ3：17-18【しかし、上からの知恵は、第一に純真であり、次に平和、寛容、温順であり、また、あわれみと良い実とに満ち、えこひいきがなく、見せかけのないものです。義の実を結ばせる種は、平和をつくる人によって平和のうちに蒔かれます。】

私たちは神様の知恵で生きるとき、私たちは『温順』になるのです。『温順』とは、純真で平和、寛容、温かい心、えこひいきが無いという意味です。

温順であるためには、『平和の種を蒔きなさい』と言われてます。その『平和の種を蒔く』とは良い言葉を話すことを意味し、義の実がなるためです。反対に悪い言葉を言っていると茨が生えるので気を付けなければいけません。

■ 『強硬』ではなく『柔和と穏健』で解決を選ぶ

『穏健』とは、考え方や言動などがおだやかで、行きすぎがなく、しっかりしているさま。『穏健な人』とは、直面した問題を、強硬手段を用いず、穏やかに解決しようとする立場の人のことです。そして私たちは、神の知恵で問題を解決する時、AとBで戦うのではなく、Cを選ぶことができるのです。ヤコブ1：2-5で、試練に合う時忍耐しなさいと語られています。

あるおじさんが腹が立った時にいつも、「カチコーン!ときたんじゃ」といってその場の空気が緩まるという例え話がありました。また猫が飲んでいる水の中に入ってきた犬に対して威嚇している動画を見ました。

私たちは試練にあった時、また想定外なことが起こった時、私たちは怒りを相手にぶつけることもできるし、「カチコーン」という知恵の言葉を用いて、『温順』である方を選ぶことができます。私たちは、温順を選ばなければいけません。

■ 神を愛する者への神様の約束

『柔和』は、苦しみや苦悩を御言葉による忍耐で乗り越えた時に与えられる。

『穏健』は、忍耐による品性に与えられる、神の知恵による行動。と言われました。

ヤコブ1：12-24 試練に耐える人は幸いです。耐え抜いてよしと認められた人は、神を愛する者に約束された、いのちの冠を受けるからです。22 みことばを實行する人になりなさい。と言われてます。

神を愛する者として、私たちが選ばれた者としてふさわしくありたいと願います。

■ 神の知恵を受け取る

アメリカで大きな停電が起こった時、夜空に見たこともない天の川が見えたというたとえ話がありました。私たちは普段何気なく生活していたら見えないように、神様の声も細く聖い言葉で、私たちの心が騒いでいるときは聞くことができません。

反対に悪い言葉は大きな声で聞こえてきます。私たちはたましいの管理者だからこそ、耳を澄まして神に聞きながら行うことが必要です。自分の考えでなく神に聞きながら行くと、人の心も溶けていきます。間違ったことには言い訳が伴うが、正しい事はいい訳は必要ありません。しかし正しい事は忍耐が必要です。これがバロメーターです。

2025年ぜひ知恵を受け取るものになっていきましょう。大嵐の中で、社会の目まぐるしい情報の中で神様に聞くのです。荒野に道を設ける主に聞いていきましょう。生活を守るために生きるのではなく、主が与えられる知恵によって生きて行きま

最後に

私は相手から感情的に言われた時、してはいけないと思ってても感情的になり分り、言っではいけないことを言ってしまう。その弱さを知り、神様の知恵によって生きて行けるように、祈り求めたいと願います。選ばれた者としてふさわしく、間違っているなら悔い改め、正しいことをする時、試練があつたとしても忍耐して生きて行けるように、いつも主を求めて歩みたいと思います。

(要約者：横山 栄子)

(2024年1月5日)